

法にては六十本を運轉せしむるに只た七十二「マイナルス」マイナルス時にて足れりと蓋し古來水車に用ひたる水の高低ハ未だ前記の如きものならず實に古今の尤物にして動水學術上の紀念となるものなり又該水車噴口の水勢は殆ど恐怖に耐へたるものにして試に之に鐵棒を投げ付れハ鐵棒は恰も流動物にあらざる固形物に投付ると同じく飛ひ返るなり此噴水の速力は水車の水受到衝突する所にて一分間二哩則一秒間百七十六尺とす此他該水車の固有質にして在來多數の元動機に異なる點ハ重量の甚た小なる割合に動力の甚た大なるにありて現にコラル鑛山の水車は重さ一八封度毎日に一馬力を生ずるの割合なりと云ふ (沖龍雄)

○ボスフオラス海峽ニ架スベキ大橋

巨大ナル橋ヲ架スルコト付最近ノ企圖ニ係ルモノ

ハボスフオラス海峽ヲ巨ルベキ橋ニシテ或ル佛國ノ工業會社ノ案出ニ係レリ歐羅巴ト亞細亞ノ二大陸ノ間ニ狹マリテマルモラ海トイコーシシ海トヲ連接スル所ノ古代ヨリ歷史上ニ著明ニシテ且景色絶佳ナルボスフオラス海峽ハ八百七十二「ヤード」廣ケレレ之ニ架スベキ橋コハ一モ橋杭ヲ設ケズ即チ此廣キ海峽ヲ八百七十二「ヤード」ノ徑間ヲ有セル一穹形橋ヲ以テ横切ラントス當時ノ如キ大橋流行ノ世ニ於テハ之ニ要スル金サヘ集マレバ工事ノ方ハ大シタル困難ニハアラザルベシ二十年此方此橋ノ事ニ付キ種々ノ考案モアリタレモ兎角收支相償ハズトテ棄却サレタリシガ晚今鐵道ノ大ヒニ開ケシテ以テ此橋若シ成ルノ日ニハ兩地方ノ連續ニ必要ナルヲ以テ所費ノ金ニ對シテ充分ノ收入アルベキ見込ナリト云フ (Industries, Vol. VIII, p. 20. 細木松之介)

○ニケルノ供給用途及其鋼鐵トノ合金 (Jour. Soc. Chem. Ind. Vol. Viii, p. 386) 近頃開キタル米